

⑱ 身近の自然を楽しむ 節分ー立春の頃の自然

Enjoy the surrounding nature: Division of two seasons: Winter and Spring

2/5/2023

吉野輝雄

節分とは冬が春に変わる節目を意味する。**ここでクイズ**：今年の節分 2月3日は冬か、春か？ **なぜ節分にマメを蒔くのか？** **答え**：昔の人は、病気は鬼のしわざと考え、一年の最後の日に鬼を退治して新年を迎えるためであった。すなわち、節分は年の最後の日（冬）が正解。

世田谷の節分は、1週間前の氷点下の朝とは違って比較的温かで、本橋家の庭には可憐な**節分草**が咲きそろっている。芦花公園には、**紅梅**と**ロウバイ**（**蠟梅**）の花が咲きそろい、近隣には**白梅**(*Prunus mume*)と**アズ**（**杏**, *Prunus armeniaca*）も咲き始めている。**杏**の花弁は5枚で薄ピンク色、学名が示すように梅の仲間で、両者とも6月に実が熟す。味は異なる。

冬の芦花公園で3種の**南天**を見つけた。たくさんの赤い実をつける**ナンテン**（**南天**）、背の低い栽培種で、真っ赤な葉が鮮やかな**オタフクナンテン**（**お多福南天**）、そして、黄色の花を咲かせ、青い実をつける**ナリヒラヒイラギナンテン**（**業平柗南天**）である。なお、**ヒイラギナンテン**（**柗南天**）も園内で見られるが、3~4月に開花する。

11月に小さな淡いピンク色の花を付けていた**マユミ**（**真弓**）が1月には赤色に変わり、萼の中に**真っ赤な実**を宿していた。葉を赤紫色や薄黄色に染めた**ハボタン**（**葉牡丹**）は年末頃から霜の寒さにも負けず地面を華やかに飾っていた。今はもうすぐ店じまいといったところか。

最後尾の花は**マンサク**（**満作**, *Hamamelis japonica*）。春を待つ多くの木の花の中で**先ず咲く**という異名をもつ。兄弟（競争相手？）の**黄色のマンサク**は節分の時点ではまだ堅い蕾み状態だ。今、日本原産のマンサクが春の到来を告げている。それと時を合わせるように園内の**河津桜**の一枝が開花しようとしている。



「冬来りなば春遠からじ」